

安田家住宅 実測調査演習



斑鳩の里、法隆寺の西側にある西里村が法隆寺造営当初から法隆寺を支える大工や木挽などの職人の本拠地でした。西里出身で最も有名な大工が中井大和守正清をはじめとする中井家で、江戸時代を通し、当時の大規模な建築、例えば江戸城、名古屋城、二条城、京都御所、東大寺大仏殿、東寺、仁和寺、清水寺、日光東照宮等を手掛け、建築文化の中心的存在でした。

安田家は中井家に使え、全国の作事に奔走するも、西里を本拠地として残った法隆寺大工の代々の棟梁家であり、西里に残る法隆寺大工、最後の遺構が安田家住宅です。

先行して斑鳩町教育委員会により実施された安田家文書調査（平成21年3月報告）により、中井家文書に匹敵する重要な資料が発見されています。

今回の実測調査を実施する安田家住宅は、現在の当主の安田泰一氏のご好意により、保存に向けた実測調査を実施することになり、その第一歩としてJIA文化財修復塾により実測調査演習を開催することになりました。

■安田家住宅 実測調査演習

日 時	2020年 12月22日（火） 9:30~16:00
集合場所	斑鳩町中央公民館 研修室2（斑鳩町龍田南2-2-43）
実測演習	演習レクチャー 藤岡龍介氏（藤岡建築研究室代表）
演習場所	安田家住宅（斑鳩町法隆寺西1-2-2）
参 加	JIA文化財修復塾 現地講座受講者（見学のみも可能）
記 録	文化庁令和2年度文化資源活用事業費補助金（観光拠点整備事業）
主 催	公益社団法人日本建築家協会 JIA文化財修復塾